

【愛知県豊田市】【豊田市雇用対策協会】【愛知労働局ハローワーク豊田】 県内外の高卒人材確保のため、見学会を共同開催

【課題・目的】 豊田市・みよし市は、市内に限らず市外や県外から多くの学生を受け入れている。継続的な学生の確保のため、県内外の就職担当の高校教諭と豊田市雇用対策協会に加盟する企業との交流を深めることを目的として実施している。

【実施概要】 工場見学、意見交換会、交流会の三部構成。工場見学は、高校教諭全体でトヨタ自動車を見学後、グループに分かれ管内企業7社を見学した。
その後、企業を交えての意見交換会、交流会を開催。双方の交流を円滑に進めるため、意見交換会では教諭の席を固定して企業が巡回する形式、交流会は立食形式を採用した。

【役割分担】

【豊田市】

グループの引率者として見学会に参加し、高校教諭と企業の交流を円滑に進めた。

【豊田市雇用対策協会】

事業の実施について市及びハローワークと連携しつつ、企業及び高校に出席要請し、当日の運営を担当した。

【ハローワーク】

管内の企業に送り出しが多い高校の一覧表を作成。また、グループの引率者として見学会に参加した。

【効果】

管内の企業と送り出しの多い高校との接点ができ、高校訪問がしやすくなった。また、この機会を利用し、教諭が就職した学生と面談することが可能になり、定着指導もできた。さらに、高校側としては、継続的な送り出しが可能となった。



＜豊田市コメント＞

市内企業に就職する学生を継続的に確保するための有効な事業である。

＜労働局コメント＞

管内企業には、県外からの就職者も多くあり、学校と企業が直接面談する機会も少ないため、この機会を利用し、受け入れ、送り出しの促進に寄与している。